授業科目	教育原理					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	杉谷　修一						
授業概要	この講義は教育に関する基礎的概念、理論、歴史および現代的諸課題について学び、教育に関する体系的知識の習得を目指すものである。これらの学習を通じて、教育の意義・目的についての理解を深め、幼児教育を志す者に不可欠な教育学的な思考と態度を習得する。現代的教育課題については、調査資料・報告書などを読み取りながら、実態の理解とそれに対する方策について学ぶ。						
授業形態	講義			授業方法	Google Classroom の活用 ・自主学習の支援（レジュメ、資料等の掲示） ・学生からの質問等に対する回答・解説の掲示 ・Google フォームによるアンケートや小テストなど		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	(1) 教育の意義と目的について簡単に説明できる。 (2) 教育の基礎的概念と諸理論の基礎を理解できる。 (3) 日本および諸外国の教育制度を簡単に理解できる。 (4) 生涯学習社会に向けた教育のあり方の概要を理解できる。 (5) 現代社会における教育問題の概要を理解できる。 (6) 上記の項目について、特に幼児教育の領域に関し基礎的な理解ができる。
理想的レベル	(1) 教育の意義と目的について十分に説明できる。 (2) 教育の基礎的概念と諸理論を理解できる。 (3) 日本および諸外国の教育制度を理解できる。 (4) 生涯学習社会に向けた教育のあり方を十分に理解できる。 (5) 現代社会における教育問題の概要を十分に理解できる。 (6) 上記の項目について、特に幼児教育の領域に関し十分に理解できる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	100%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE21604J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習	4

・Google Classroom に掲示する資料（配布スライド資料、参考資料、動画リンク等）を活用する。 復習 ・予習で使用した資料に加え、授業中に指示した資料を活用し、興味、関心、疑問点を調べる。	

授業計画	
第 1 回	教育とは何か
第 2 回	西洋教育の歴史と思想（1）古代社会の教育
第 3 回	西洋教育の歴史と思想（2）中世社会の教育
第 4 回	西洋教育の歴史と思想（3）近代社会の教育
第 5 回	日本教育の歴史と思想（1）古代・中世社会の教育
第 6 回	日本教育の歴史と思想（2）近世社会の教育
第 7 回	日本教育の歴史と思想（3）近代社会の教育
第 8 回	諸外国の教育制度
第 9 回	日本の教育制度と生涯学習体系
第 10 回	現代における教育課題（1）不登校
第 11 回	現代における教育課題（2）いじめ
第 12 回	現代における教育課題（3）貧困
第 13 回	現代における教育課題（4）情報化
第 14 回	現代における教育課題（5）不登校
第 15 回	授業のまとめ
テキスト	木村元・汐見稔幸『アクティベート教育学 01　教育原理』ミネルヴァ書房

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	文部科学省『学制百年史』 国立教育政策研究所『我が国の学校教育制度の歴史について』 文部科学省「諸外国の教育統計」 文部科学省『令和 4 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について』 文部科学省『生徒指導提要（令和 4 年改訂版）』 内閣府『令和 3 年子供の生活状況調査の分析　報告書』 米国国務省国際情報プログラム局『早わかり「米国の教育」』 その他、Google Classroom にて掲示する資料を参照のこと。
課題に対するフィードバックの方法	課題・質問等への回答は以下のように行う。 （1）授業中に全体に説明する。 （2）Google Classroom に掲示する。 （3）メールでの質問は本人への回答を基本とするが、許諾があれば全体で共有する。
学生へのメッセージ・コメント	誰でも自分だけの教育経験をもっています。それは友人や家族のものと共通するところもあれば、異なっていることもあります。学校、教師、子どもなどについてイメージだけで決めつけずに、様々な角度から特徴を理解することが大切です。そのために思想や歴史、制度についての学問を活用してください。 また、普段から疑問に思っていること、こうであればいいのにという思いを手がかりに、現代の教育課題を考えてみてください。みなさんたちの率直な疑問や意見を反映しながら授業を進めていきたいと考えています。